

11名から回答（84.6%）があり、Aが4点、Bが3点、Cが2点、Dが1点で集計し平均を出しました。項目によっては全員が回答していない項目もあります。

A：十分できている　　B：大体できている　　C：あまりできていない　　D：ぜんぜんできていない

平成30年度小樽幼稚園教職員自己評価シート1学期集計

項目	評価項目	自己評価				平均
		A	B	C	D	
教育目標	幼稚園教育要領を理解している。	1人	8人	1人	0人	3.0
	園の教育理念や教育方針を理解している。	1	8	1	0	3.0
指導	活動の目標を幼児に分かりやすく伝え、評価もしっかり行っている。	0	6	0	0	3.0
	日々の保育の記録をとり反省や検討をし、次の計画に生かしている。	1	6	0	0	3.1
	幼児と共に活動し、また共感し、満足感や心の安定を与えている。	2	6	1	0	3.1
環境構成	安全で清潔感のある環境構成をしている。	3	5	0	0	3.4
	幼児の自発的活動を引き出す用具や材料などを適切に準備している。	1	4	1	0	3.6
幼児理解	一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	4	7		0	3.4
	幼児同士のかかわりにも目を配るなどして、友だち関係を把握している。	2	9	0	0	3.2
健康安全	登園時の視診を徹底し、常に幼児の体調面に配慮している。	3	7	0	0	3.3
	体調不良の幼児に休息をとらせたり、家庭へ連絡するなど適切な処置をしている。	3	6	0	0	3.3
保育態度	幼児の話に耳を傾け、言葉にならない思いも理解するよう努めている。	4	6	1	0	3.3
	幼児が自発的に活動できるような言葉がけや働きかけに努めている。	2	9	0	0	3.2
学級経営	個々の幼児を大切に、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。	1	3	4	0	2.6
	日常的に保護者と幼児に関する情報交換がなされ、意思疎通ができています。	0	5	1	0	2.8
研修研究	保育技術の習得に止まらず、幼児観や保育観の確立にも努めている。	1	5	1	0	3.0
	機会あるごとに幼稚園教諭として、専門知識や技能を身に付けようと努力している。	2	5	2	0	3.0
	園内研修の計画、運営は適切である。	1	3	0	0	3.3
家庭連携	自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を開いて耳を傾けている。	3	2	0	0	3.6
	クラスだより等を工夫して、きめ細かく幼児の様子を知らせている。	1	5	0	0	3.2
	事故や問題が起きた場合の、保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	0	6	0	0	3.0
運営	一日の保育の流れや自分の職務の流れなど時間管理ができる。	1	6	0	0	3.1
	保育の向上に向けた職員同士のチームワークができています。	1	5	2	0	2.9
	行事の種類や回数は適切である。	1	4	2	0	2.9

全体平均 3.1

【一学期自己評価結果から】

全体平均は3.1であり、平成29年度二学期（2.8）を上回る評価となった。

昨年度より19項目において向上が見られている。特に「環境構成」や「幼児理解」「研修研究」については、大きな伸びが見られている。また、行事の種類や回数についても、改善の取組の成果が見られている。

一方、「保護者との情報交換」、「保護者への説明、対応」については、それぞれ0.2ポイント低い結果となった。

また、学級経営において、「個々の幼児を大切にし、幼児同士もお互いに大切にす」項目が昨年度と同様ではあるが全体から見ると最も低い評価になっている。

一学期の自己評価結果から、昨年度より全体的には向上してきている様子が伺える。

特に、公開研究会に向けての園内研修の取り組みにより、保育の充実が図られてきていると考えられる。

学級経営については、子どもたち同士が互いに大切にできるような取り組みの充実が必要である。

【改善の取組】

- ・子どもから目を離さない指導体制を確実に実行する。
- ・日常的に保護者との意思疎通を図るように努める。
- ・事故や問題が発生した場合は、その状況を正確に記録し、保護者に的確に伝える。
- ・幼児同士が互いを認め合い大切にできる学級経営を推進する。